

人口と世帯	人口	33,819人	(42人増)
	男	17,295人	(29人増)
	女	16,524人	(13人増)
11月1日現在	世帯	13,481	(32世帯増)
()は前月比	外国人登録数	596人	



ミカン狩り

とても暖かな好天に恵まれたこの日、狭山丘陵の南斜面にあるミカン農園で、楽しそうにミカン狩りをしているお母さんと子どもに出会いました。

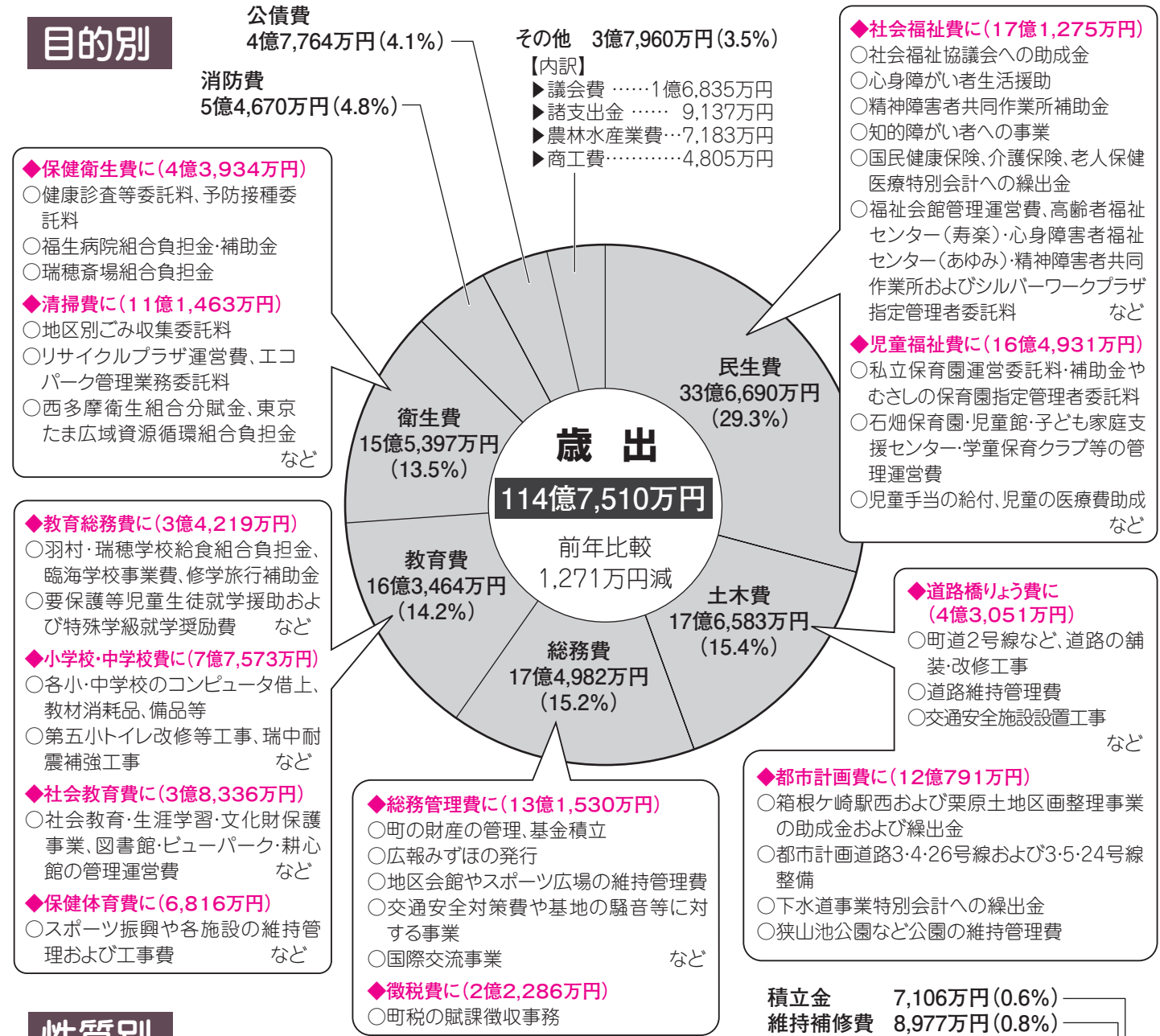
ほのぼのとした雰囲気、心が和まされました。

おもな内容

平成19年度決算報告・平成20年度財政執行状況	2～6
年末年始の窓口業務	7
みずほ伝言板	町職員の給与などのお知らせ 瑞穂町長選挙について ほか 8～11
福祉	平成21年度 保育園児募集 平成21年度 学童保育クラブ入所申請書の受付 ほか 12～13・16
インフォメーション	六道山公園で初日の出を！ ほか 17～20
教育委員会からのお知らせ	新年歩こう会 ほか 21～23

一般会計 使ったお金(歳出)

目的別



性質別

人件費 20億6,381万円 (18.0%)	物件費 20億3,910万円 (17.8%)	補助費 19億5,643万円 (17.1%)	繰出金 17億1,117万円 (14.9%)	扶助費 15億8,103万円 (13.8%)	普通建設事業費 14億8,509万円 (12.9%)	積立金 7,106万円 (0.6%) 維持補修費 8,977万円 (0.8%) 公債費 4億7,764万円 (4.1%)
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	----------------------------------	---

【積立金】
年度間の財源の不均衡を調整するためや公共施設建設のための基金などへ積み立てるお金

【維持補修費】
公共施設を維持するために必要な補修などをするための経費

【公債費】
町の借金である町債に対する毎年度の元金の償還と、利子の支払いに要する経費

【普通建設事業費】
新築工事などの建設事業に要する経費

【扶助費】
社会保障制度の一環として、高齢者、児童、心身障がい者などを援助するための経費

【繰出金】
国民健康保険・介護保険・下水道事業会計などに対し、支出される経費

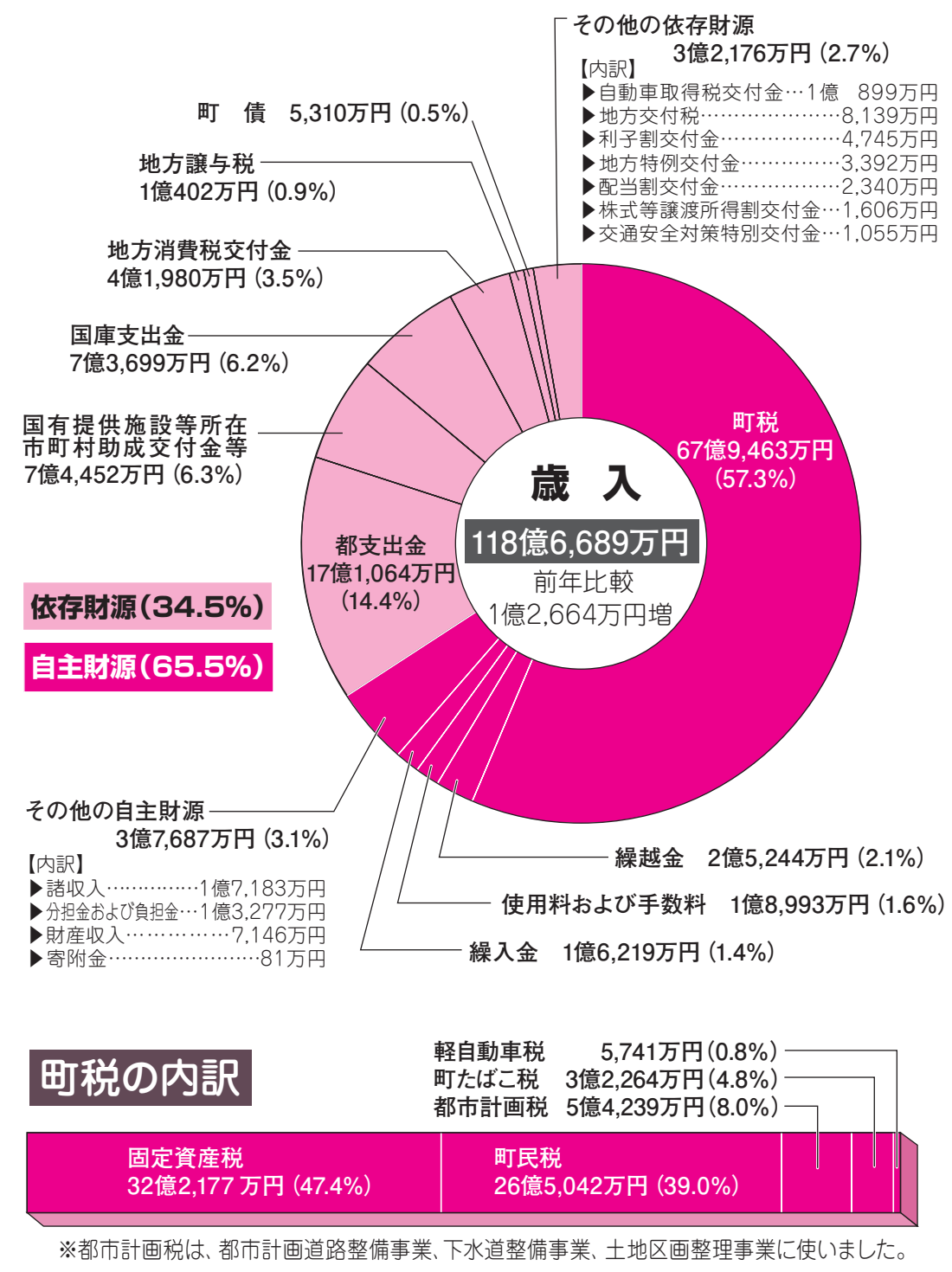
【補助費】
町民や団体などが行う事業に対する補助金や、西多摩衛生組合や福生病院組合などの一部事務組合への負担金など

【物件費】
賃金、旅費、消耗品費、燃料費、光熱水費、委託料、備品購入費など

【人件費】
職員・特別職の給与や退職金、町議会議員や各委員会の委員に支給される報酬など

用語解説

一般会計 入ったお金(歳入)



決算報告

平成19年度一般会計の決算額は、歳入総額118億6689万円、前年に比べ1億2664万円の増額(1.1%増)となりました。歳出総額は、114億7510万円で前年に比べて1271万円の減額(0.1%減)となり、また翌年度に繰り越すべき財源があったことから実質収支額(歳入総額ー歳出総額ー事故繰越し繰越額)3億3642万円となりました。

平成19年度 決算のひとし

歳入では、国から地方への税源移譲に伴う所得税の移管により、個人町民税が増加し、また企業業績の回復を受けて法人町民税が増額になりました。結果、町税全体は前年度に比べ増額になりました。

国や東京都の負担金・助成金などの支出金では、町が実施する対象事業が増加したことに伴い、それぞれ増額となりました。

歳出では、行政改革を継続し、人件費等で支出を前年度以下となるよう抑制と節約を図り、予算の適正な執行に努めました。

普通建設事業では、五小トイレ環境整備工事、瑞中耐震補強工事など教育施設の安全、環境整備を主な事業として進めました。国際化の取り組みとして米国モーガンヒル市から訪問団が来訪し、親善交流を深めることができました。また、町民の健康を増進するため、健康づくり基金を創設しました。

問合せ 企画財政課 0571-7483

平成19年度決算における 健全化判断比率の状況

問合せ 企画財政課 TEL 557—7483

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行となったことから、平成 19 年度決算より健全化判断比率を算出し、公表することになりました。比率を見ることにより、瑞穂町がどのような財政状況なのかの判断材料となります。

各比率から分かること

- 平成19年度決算における各比率の状況は、実質赤字比率、連結実質赤字比率がマイナスの数値となり黒字決算となりました。
- 実質公債費比率は、借金の返済の割合が5%台に留まり、無理のない返済をしていることがうかがえます。
- 将来負担比率もマイナスの数値となり、借金が将来においても無理のないレベルで借りていることが分かります。

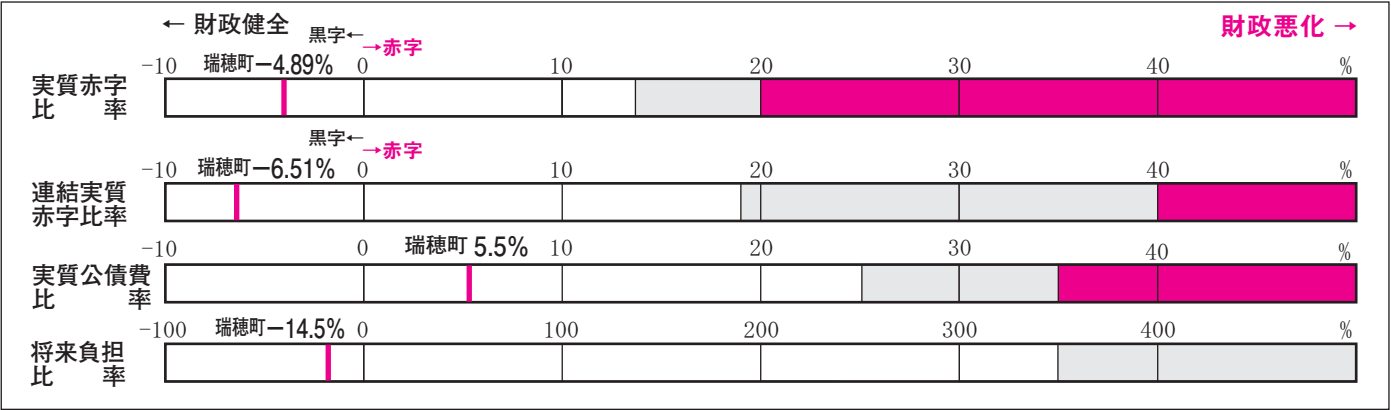
結果、瑞穂町は健全財政を維持していることが分かります。

健全化判断比率は、4つの比率があり各比率は次の通りです。（単位：％）			
区 分	瑞穂町の平成19年度比率	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	—	13.94	20.00
連結実質赤字比率	—	18.94	40.0
実質公債比率	5.5 (3年平均)	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	

備考：本表中、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は、マイナス数値のため、表示されません。
参考数値として実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は次の通りです。

早期健全化基準 財政再生基準

実質赤字比率：－4.89％ 連結実質赤字比率：－6.51％ 将来負担比率：－14.5％



関連として公営企業(下水道事業)における資金不足比率は次の通りです。			
資金不足額	事業の規模	資金不足比率	経営健全化基準
— 千円	599,876 千円	— ％	20.0 ％

備考：資金不足額、資金不足比率はありませんので表示されません。
参考数値として資金不足額、資金不足比率は右の通りです。

【実質赤字比率】
一般会計等に係る歳入総額から歳出総額を差し引いた額の標準財政規模に対する割合です。一般会計等の決算額が黒字か赤字かを表す数値です。赤字がプラスの数値で表されるため、黒字はマイナスの数値(〇)で表されます。

【連結実質赤字比率】
一般会計、特別会計(財産区特別会計を除く)を対象とした実質赤字(または資金の不足額)の標準財政規模に対する割合です。一般会計、特別会計を合わせた決算額が赤字か黒字かを表す数値です。赤字がプラスの数値、黒字がマイナスの数値(〇)で表されます。

【実質公債費比率】
一般会計等が負担する元利償還金と準元利償還金の標準財政規模に対する割合です。標準的な収入のうち、どのくらいを借金(元利償還金、準元利償還金)の返済に充てているかを表します。

【将来負担比率】
一般会計等が背負っている借金が、一般会計等の標準的な年間収入の何年分かを表します。基金等(貯金)とのバランスが大切となります。

【標準財政規模】
地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもので、当該団体の標準的な税収入額と普通交付税額(瑞穂町は不交付)を合算したものです。

【資金不足比率】
公営企業(下水道事業)の資金の不足額が、事業の規模に対してどの程度あるかを表します。一般会計等の実質赤字比率に相当するものです。

【早期健全化基準】
4つの健全化判断比率のうち、つても早期健全化基準を超えると「財政健全化計画」を定め、議会の承認を得た後、財政健全化に向けて努力しなければなりません。

【経営健全化基準】
基準を超えると「経営健全化計画」を定め、議会の承認を得た後、経営健全化に向けて努力しなければなりません。

【財政再生基準】
早期健全化段階より悪化した状態で、将来負担比率以外の比率のうちつても財政再生基準を超えると「財政再生計画」を定め、議会の承認を得た後、総務大臣に報告し、財政再生に取り組まなければなりません。

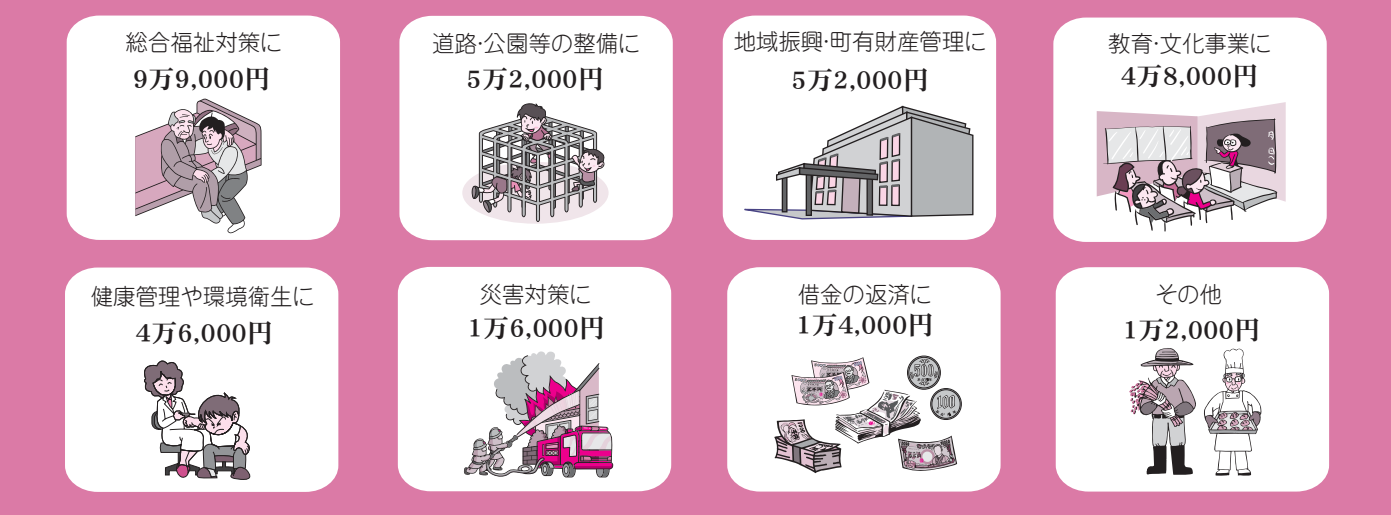
平成19年度の一般会計決算

町民一人当たりが
町に納めたお金(町税負担額)
20万1千円

町民一人当たり
掛かったお金(支出額)
33万9千円

※そのほかの収入として、国や都の負担金・助成金などがあります。

負担額は町税を、支出額は一般会計歳出総額を平成20年3月31日現在の人口(33,844人)で割った金額です。



特別会計	会 計 別	最終予算額	収入額(収入率)	支出額(執行率)
	国 民 健 康 保 険	34億6,546万円	34億4,213万円(99.3%)	34億 777万円(98.3%)
	駅西土地地区画整理事業	6億8,718万円	6億8,718万円(100.0%)	6億6,406万円(96.6%)
	下 水 道 事 業	11億4,837万円	11億4,124万円(99.4%)	11億2,446万円(97.9%)
	老 人 保 健 医 療	16億3,597万円	16億4,653万円(100.6%)	15億9,964万円(97.8%)
	介 護 保 険	13億4,425万円	13億3,274万円(99.1%)	13億1,216万円(97.6%)
	殿ヶ谷財産区	551万円	551万円(100.0%)	400万円(72.6%)
	石畑財産区	2,903万円	2,815万円(97.0%)	2,666万円(91.8%)
	箱根ヶ崎財産区	823万円	821万円(99.8%)	622万円(75.6%)
	長岡財産区	63万円	63万円(100.0%)	40万円(63.5%)

町の財産	●土 地	48万1,783㎡	▶西部地区公共施設整備基金	5,110万円
	●建 物	8万1,636㎡	▶総合体育施設建設基金	5億2,750万円
	●基金総額	89億5,787万円	▶介護給付費準備基金	5,165万円
	【内訳】		▶瑞穂斎場周辺整備基金	1億4,299万円
	▶土地開発基金	4億9,885万円	▶緑の基金	1億 78万円
	▶財政調整基金	12億6,706万円	▶教育振興基金	1億4,971万円
	▶公共施設建設基金	44億1,055万円	▶健康づくり基金	3,892万円
	▶国民健康保険基金	180万円	▶殿ヶ谷財産区基金	1億7,681万円
	▶国民健康保険高額療養費貸付基金	300万円	▶石畑財産区基金	3億1,541万円
	▶まちづくり振興基金	1億6,274万円	▶箱根ヶ崎財産区基金	2億2,848万円
	▶社会福祉基金	3億2,192万円	▶長岡財産区基金	580万円
	▶減債基金	5億 280万円	●物品・車両・備品	341台・式等

町債の現在高	●一般会計事業債	49億417万円	●駅西土地地区画整理事業債	7億5,100万円
	●下水道事業債	35億855万円	●介護保険事業債	537万円

問合せ 企画財政課 TEL 557—7483